

株式会社ミヤプロ

一般型

試作開発＋設備投資

印刷原稿自動入稿システムの開発・導入

B to B型 Web to Print市場への参入を検討する他の印刷会社、ならびに印刷に掛かる経費削減・社内印刷業務の効率化を検討する一般企業を顧客対象として、自動入稿システムを提供し、大量・継続取引を想定したビジネスモデルを確立する。

④ 取組の背景

Background of efforts

印刷用の原稿には多様な形式が用いられているため、印刷トラブルに発展しやすい。印刷会社の営業担当者は打ち合わせを兼ね、印刷発注会社である客先を訪問して入稿データを受け取る。その後、自社の製版担当へデータの引き渡しを行い、データに不備等あれば、再度客先へ訪問して入稿データの修正依頼と、修正データの受け取りをする。このような現状は印刷会社の営業担当や客先のデータ制作者にとって、かなり非効率である。昨今では、Office系ソフトのデータをそのまま入稿したいという、大手企業のニーズも増えており、その対応に追われていた。そこで、印刷発注会社が24時間365日、いつでもデータを入稿でき、自動でデータ不備・エラーのチェック＆返信する機能を持つB to B型Web to Printシステムを導入することで、時間的ロスを減らし、本業務に専念できる時間の創出を行う。

⑤ 事業の実施内容

Implementation content

入稿に慣れていない人でも簡単に扱える自動入稿システム開発にあたって、「基本仕様」をはじめとする検討と決定を実施。全5工程で本事業に取り組んだ。

① 基本仕様の検討

入稿データごとのバージョンや各種印刷商品の後加工の仕様、及び入稿専用ホームページのデザインを検討。

② 検討会の開催・仕様の決定

データ変換のシステム開発と印刷技術、ホームページデザインについて、検討会をそれぞれに行って各種仕様を決定。

③ 印刷技術開発・システム開発

パルフラップ社のデータ変換エンジンをベースに開発。

④ サービス実施準備

サービス実施に向けて商品の絞り込みをはじめ、仕様決定・開発をした各サービスの最終決定を実施。

⑤ 実施と検証

発注をいただいた顧客の体感や、社内フローの検証を行いながらサービス・製品の品質向上と安定を図る。

⑥ 事業の成果

Achievement



【図1】誰でも簡単に操作できるよう、視覚にも考慮した画面

入稿専用ページ試作の画面遷移は「トップ画面」「商品選択～基本情報入力画面」「入稿データ 選択画面」「入稿データ アップロード処理中画面」「注文確定画面」「校正確認画面」となる。また、顧客が自らの注文を管理できる管理用画面は「校正確認用データ 変換済み一覧画面」「校正確認用データ一覧画面」「印刷データ 変換済み一覧画面」の3ページ。

本試作品における入稿データの不備や、エラー自動チェック機能、印刷用最終データへの変換機能は、総合テストで汎用システムとしての技術的優位性が確保できた。具体的には、主な自動入稿受付となるエクセルやワードなどのOfficeデータやPDFデータについて、様々な用紙サイズの設定や特殊なフォントの使

用、大きな画像を含むなどのファイルサイズ1GBを超えるデータ等で実施したテストのデータを基に検証を行った結果、エラーチェック・データ変換機能ともに高い精度を実現した。

本システムを他社へプレゼンテーションした結果、エラーチェック・印刷用データ変換機能、入稿専用ホームページの基本機能に対して高評価を得られた。加えて、各社で想定する製品やオプション加工のバリエーション、ユーザー（顧客）管理機能に対するカスタマイズ要望や意見をいただくことができた。

⑦ 今後の展望

Future prospects

日本のWeb to Print市場は「印刷通販」の盛況も手伝い500億円規模。B to Bのビジネスモデルで企業によるWeb to Printシステムの利用率が向上すれば、従来の印刷会社も対応をはじめ、更なる市場拡大が期待される。

今回開発したWeb to Printシステムでは社内利用による売上増を対前年比5～6%、チラシ等の印刷を行う企業に向けたシステム販売で初期導入費用を1件あたり400万円、保守費用を月額10万円と想定して、5年後の売上増額3,000万円を目指す。また、本事業で開発したWeb to Print版とは別に、要望があったWebを介さないスタンドアローン版の開発にも取り組み、代理店契約と販売促進を強化する。

お客様の声



誠伸商事株式会社は東京を中心に印刷機材、資材の販売を行っている。

現在印刷業界では、多岐に渡る印刷工程の効率化が求められている。CMでも流れているWEB受注会社を筆頭に、一般ユーザーがデータを作成して印刷会社へ送り、印刷されることも多くなっている。その中でWindowsのOfficeソフトデータ入稿も多く、データ修正や変換などに非常に時間を費やし効率化の妨げにもなっていた。印刷会社側からは、印刷に適したデータへ簡単に変換できるアプリケーションが求められていた。

今回ミヤプロ様が開発されたWeb to Printシステムの販売代理店にならせて頂き、印刷会社様へ提案し、少しでも印刷会社様の効率化のお役に立てればと考えている。

COMPANY PROFILE



株式会社ミヤプロ

所在地

〒760-0064
香川県高松市朝日新町16番19号

TEL

087-851-0515

設立

1976年12月

代表者

宮崎 佳昭

業種

印刷・IT関連

従業員数

29名

URL

https://www.miyapro.co.jp

事業内容

企画、デザイン、印刷[名刺、ハガキ、ポスター、カタログ、その他全般]、ICT関連[ホームページ関連・マルチメディアコンテンツ関連・デジタルサイネージ関連・サーバー運用管理]、マーケティング



代表取締役 宮崎 佳昭

印刷だけにとどまらない新しいテクノロジーを活用した様々な提案で、企業の成長戦略を多角的にサポート。

テクノロジーの進化と発展を背景に、私たち生活者のライフスタイルは日々変化するとともに消費者ニーズは多様化しています。そんな中、印刷業界ではWordやExcel、Power point等のOfficeソフトデータの変換をせずに入稿したい、とのお客様ニーズが増えてきました。そこで、多角的な解決のために印刷業の枠を飛び越えて、Officeデータに特化したWeb to Printシステム開発に着手。他にも、独自プログラムで使える法人向けペーパー君や、ウェアラブル端末を使った高齢者見守りサービスに取り組むなど、最新のテクノロジーを活用した解決策をご提案します。そして、業界にとらわれない解決策で企業の成長戦略をサポートします。